



環境創造センターだより



研究の現場を見てみよう!



今回は国立環境研究所福島支部で行っている研究内容について紹介します。

○標本を作る意味を知っていますか?

福島県内で河川の生態系を調査しているJさんは、標本作りの名人です。昨年の「三春秋まつり」では名人が作った水生昆虫標本などを出展し、大人気でした。イベント終了後、名人にお礼を言いに行くと「標本はただ見て面白いでは終わらない、大事な意味があるんです!」とのこと。さてどんな意味があるのでしょうか? Jさんの所属する研究チームはヤマメなどの川魚に放射性セシウムがどのような経路で移行するかを調べています。多くの川魚は昆虫を食べていますが、その昆虫が何を食べているかが魚の放射性セシウム濃度に大きく影響しているようです。調査ではこれらの昆虫を採取します。そのあとは乾燥させ、粉々にし、測定機器で分析するという流れになりますが、ん・・・?これだと、分析後の昆虫は粉々になってしまって、どんな形や大きさ、色だったのかわかりませんよね。本来、標本には「いつ」「どこに」「どんな」生き物がいたかを記録として残すという意味がありますが、それだけではなく、形ある姿として残すことで、見た目や生態についてわかりやすく伝えることができるという意味もあるのだとか。名人作の標本、イベントの際はぜひ見に来て下さいね。



ガムシの幼虫の標本。缶切りのように巻貝の殻を裂いて食べるために大あごが左右非対称になっていることがわかる。

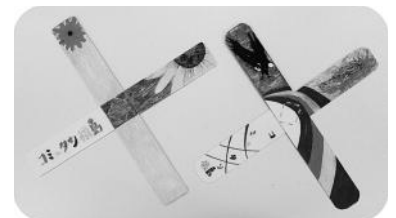


◎ 国立研究開発法人国立環境研究所 福島支部
管理課 企画総務係 今瀬 修

川俣町で開催されるフォルクローレの音楽祭「コスキン・エン・ハポン」に行くのを楽しみにしていましたが、去年は台風で中止、今年は感染症対策のため中止に。来年こそはと願いながら、昼休みに趣味のバンドネオンを練習しています。


コミュニティ福島 9月イベント情報

- ◆ 5日(土)・6日(日) 「光でたくさん電気をつくろう!」
- ◆ 12日(土)・13日(日) 「身の回りの放射線を測定してみよう!」
- ◆ 19日(土)・20日(日) 「マイクロスコープで神秘の世界を見てみよう!」
- ◆ 21日(月) コミュニティフェスティバル in Autumn
- ◆ 22日(火) 「マイクロスコープで神秘の世界を見てみよう!」
- ◆ 26日(土)・27日(日) 「厚紙でブーメランをつくろう!」



厚紙ブーメラン

◆環境創造シアター国立科学博物館番組上映 恐竜の世界、宇宙138億年の旅(土日祝日のみ)

-  ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽、イベントを中止することがありますので、予めご了承ください。詳しくはホームページ上 (<https://com-fukushima.jp/>) で周知させていただきます。
- ※ 環境創造シアターは、入館者間の距離を確保するため、最大入場者数を制限させていただいております。
 - ※ 赤外線放射温度計による検温スクリーニングにご協力ください。また、館内ではマスクを着用ください。
 - ※ 環境創造センターまで町営バス(三春の里コース)が運行しています。詳しくは「三春町町営バス時刻表」を御覧ください。

▼問 福島県環境創造センター 総務企画部 企画課 ☎ 61-6129 FAX 61-6119
住民課 生活環境グループ ☎ 62-2147 FAX 62-5155

